

株式会社アイペック 環境活動報告書 〈2022年版〉

(対象期間: 2022年1月～2022年12月)



2023/3/31

代表取締役社長

馬籠 清英

1. はじめに	…1
2. 環境理念・環境方針	…1
3. 実施体制	
3-1 実施体制図	…2
3-2 年間基本活動計画	…2
3-3 エコアクション21役割分担 責任権限表	…3
4. 対外活動結果	
4-1 主な環境活動内容	…4
4-2 顧客要求により行った有害物質調査	…4
5. 環境活動実績と中期目標	…5
6-1 環境活動実績(水・CO2・廃棄物排出量) 活動実績評価	…5
6-2 過去実績	…6
6. 環境関連法規への違反有無	…6

1. はじめに

2020年まで取組んできた活動にて当方の目的は達成できた為、
今後の継続的環境活動は、

- ・水使用、排出量
- ・電気使用量(CO2排出量)
- ・廃棄物

の監視に努めて参ります。

2. 環境理念・環境方針

環境理念

株式会社 アイペックは、企業活動と地球環境との調和をめざし、
環境保全に積極的に取り組むことにより社会的責任を果たしていきます。



環境方針

当社の事業活動が環境に与える影響を的確にとらえ、
環境負荷低減を遂行するために仕組み、組織体制を整備し実行する。

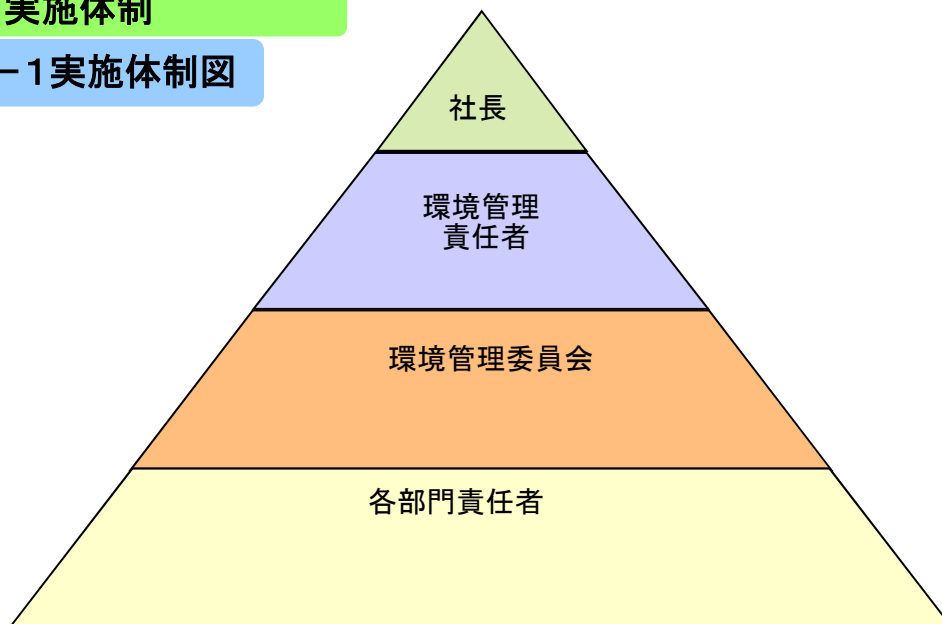
- 1.地球温暖化防止のため、CO2の削減と、廃棄物の減量化、
リサイクルを進める。
- 2.環境負荷低減のため、有害物質の使用を避けると共に、製品の小型化、
低損失化を図り、信頼性、製品寿命の向上に努める。
- 3.環境関連の国内法、条例、協定を遵守する。
- 4.この環境方針を円滑かつ効率よく達成するため、社内規定を整備すると
共に、従業員への教育を継続的に行う。



制定日：2005年9月1日

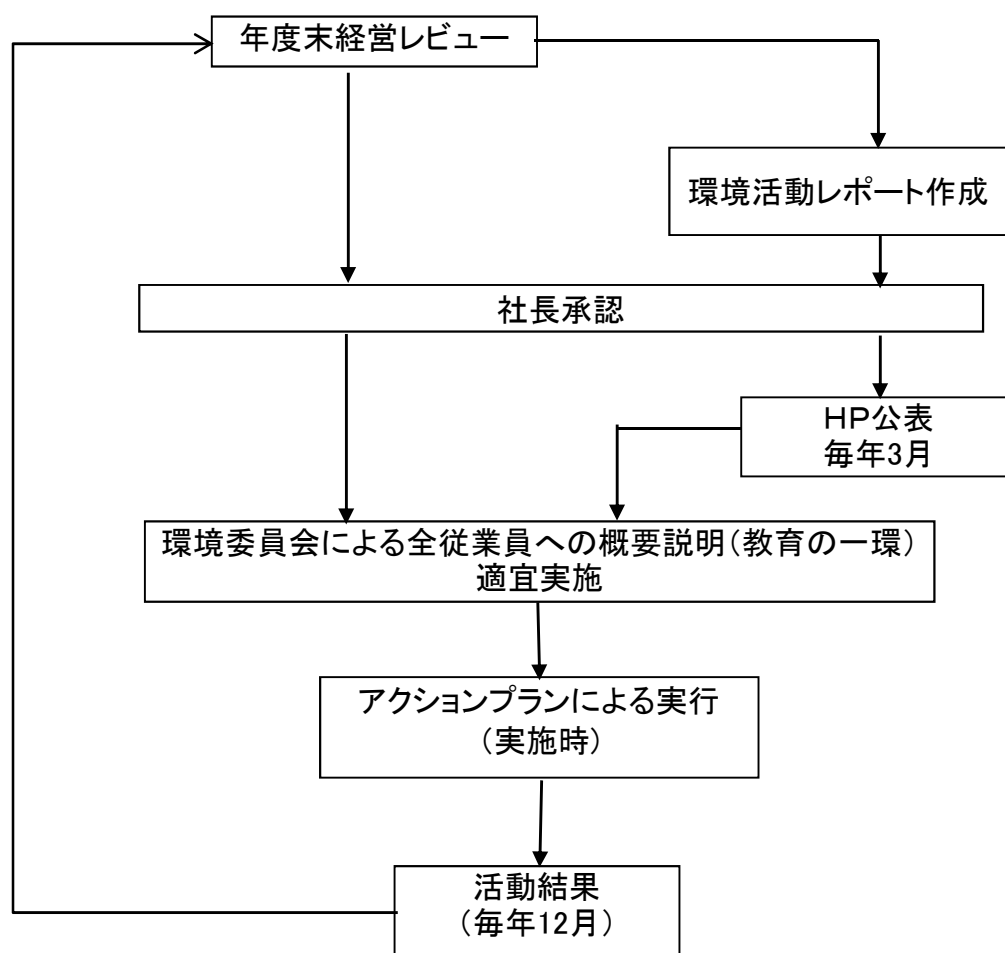
3. 実施体制

3-1 実施体制図



3-2 年間基本活動計画

…改善活動…



3-3 コアアクション21役割分担責任権限表

実行責任名称	主責任	役割責任権限
代表者	EMS全体の責任	<ul style="list-style-type: none"> ①環境方針の策定と誓約 ②環境目標及び環境活動計画(実行計画書)の承認(毎年1月実施) ③必要な経営資源の準備と提供 ④環境経営システム、環境方針及び環境目標の状況評価と見直し、指示を年度末経営レビュー時に実施(毎年12月) ⑤環境活動レポートHP公表の為の公表承認(毎年1月実施) ⑥環境管理責任者の任命
環境管理責任者	環境委員会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①環境委員会委員長 ②環境委員会の開催、推進及び取りまとめ ③環境経営システム及び環境目標の状況把握と社長への報告 ④外部利害関係者との連絡窓口
環境委員会	EMSの構築推進及び改善	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回開催される会議の一部を環境委員会と称し環境活動の中核組織に位置づける ①環境管理システム構築及び運用に関する検討、指示及び問題解決 ②毎年1月環境目標及び環境活動計画(実行計画書)の立案を行い、定期的に実行計画の進捗状況を確認 ③環境負荷調査及び環境取組調査の実施又は実施指示と結果評価 ④環境関連法規等の調査と取りまとめ及び必要な遵守事項の指示を行い毎年12月には関連法規の最新確認実施 ⑤環境教育訓練の立案と実施又は実施指示 ⑥外部利害関係者の要望又は苦情の検討と解決案立案・実施 ⑦緊急事態の想定・対応策の策定及び訓練の実施と検証 ⑧毎年12月から1月環境活動レポートの作成とHP公表
部門責任者	指示事項の実行	<ul style="list-style-type: none"> ①環境委員会指示事項の実施及び又は実施指示 ②実施結果の環境委員会への報告



4. 対外活動結果



4-1 主な環境活動内容

目標

弊社全製品‘改正RoHS指令(RoHS2)’全対応化

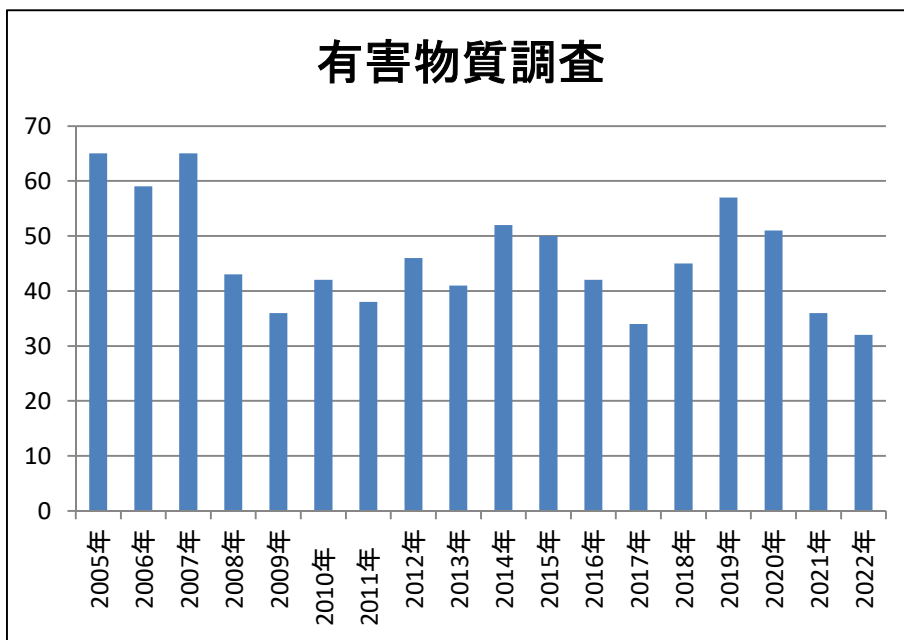
継続

有害物質調査のデータベース化

4-2 顧客要求により行った有害物質調査

・2022年有害物質調査件数(2022.12月末現在)

RoHS2	10
EICC/GeSI帳票(紛争鉱物)	4
TSCA(*)	2
客先オリジナル	6
REACH SVHC	2
chemSHERPA	8
計	32件



* 米国有害化学物質規制法(TSCA)第6条に基づくPBT 5物質

5 環境活動実績

5-1 環境活動実績


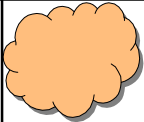

調査対象場所: 狭山工場

実績は下表の通りとなりました。

項目	単位	内容	2021年実績	2022年実績
水	m ³	使用量	148	143
		排水量	148	143
二酸化酸素排出量	Kwh	使用量	38,125	39,400
	Kg-CO2	排出量	16,813	17,375
産業廃棄物	Kg	完全リサイクル	6,183	5,018
一般廃棄物	Kg	一般	620	600
		ダンボール	896.8	3,526.4

* 二酸化炭素排出係数 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r03_coefficient_rev.pdf
A0269 東京電力エナジーパートナー(株)参照

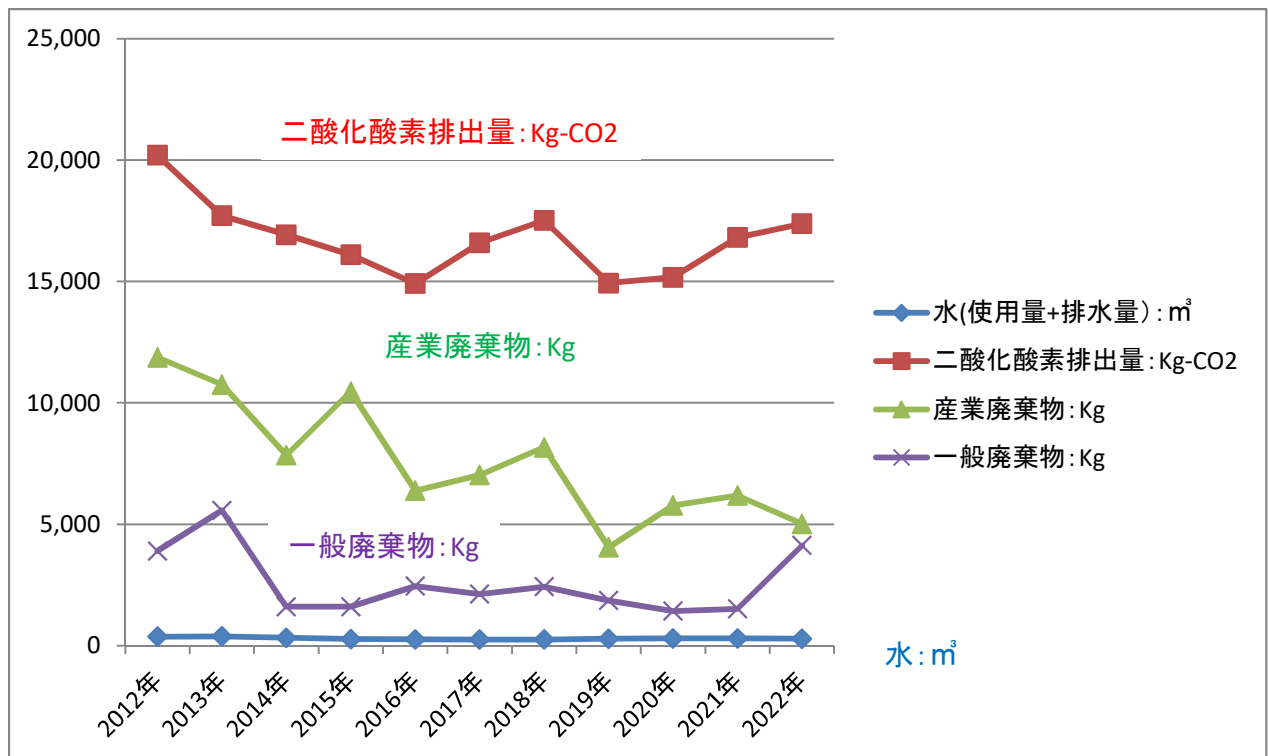
○ 2022年環境活動実績の評価

水		微減 更なる節水を心掛ける
二酸化酸素排出量		使用量:増、排出量:増 節電意識の向上に努める
産業廃棄物 一般廃棄物		一般廃棄物 ダンボールの廃棄量が増 削減に努め、注視していく



5-2 過去実績

過去実績



6. 環境関連法規への違反有無

環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
又、創業以来、上記関連法規に違反・指摘、訴訟等は無く
近隣の方々からの苦情はありません。

